



2024年7月12日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 ケ イ ブ
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 秋 田 英 好
(コード番号：3760、東証スタンダード)
問 合 せ 先 代表取締役 CFO 伊 藤 裕 章
(T E L . 0 3 - 6 8 2 0 - 8 1 7 6)

2024年5月期連結業績及び個別業績の前期実績との差異
並びに特別損失の計上に関するお知らせ

2024年5月期（2023年6月1日～2024年5月31日）の連結業績及び個別業績の前期実績との差異につきまして、お知らせいたします。また、個別決算において特別損失を計上いたしましたので、併せてお知らせいたします。

記

1. 2024年5月期連結業績と前期実績との差異について

(1) 2024年5月期連結業績と前期実績との差異の内容

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
2023年5月期 (A)	6,963	243	213	2,579	462.57
2024年5月期 (B)	12,274	1,870	1,943	1,441	240.44
増 減 額 (B-A)	5,310	1,626	1,729	△1,137	
増 減 率 (%)	76.2	667.4	809.6	△44.1	

(2) 差異の理由

2022年9月1日に連結子会社となった株式会社でらゲーの業績が通期を通して、損益に取り込まれたため、連結業績における売上高、営業利益、経常利益は、それぞれ大幅に増加いたしました。

当期において特別損失として減損損失131百万円が発生し、前期において特別利益として負ののれん発生益2,635百万円を計上したことにより親会社株主に帰属する当期純利益は、前期と比較して大きく減少しております。

以上の結果、2024年5月期の連結業績におきましては、売上高は12,274百万円（前期比76.2%増）、営業利益1,870百万円（前期比667.4%増）、経常利益1,943百万円（前期比809.6%増）、親会社株主に帰属する当期純利益1,441百万円（前期比44.1%減）となり、前期実績との差異が生じることとなりました。

2. 2024年5月期個別業績と前期実績との差異について

(1) 2024年5月期個別業績と前期実績との差異の内容

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
2023年5月期(A)	653	△1,561	△1,303	△1,325	△213.37
2024年5月期(B)	1,565	195	359	297	45.00
増減額(B-A)	912	1,757	1,663	1,623	
増減率(%)	139.7	—	—	—	

(2) 差異の理由

売上高は、新規スマートフォンゲーム「東方幻想エクリプス」が2023年11月にリリースしたことや子会社管理収入により、前期と比較して139.7%増加いたしました。

また、前期において計上した株式報酬費用1,394百万円が臨時的な費用であったことから、販売費及び一般管理費が、前期比で1,162百万円減少し、営業利益、経常利益及び当期純利益は、前期と比べて大幅に改善をいたしました。

以上の結果、2024年5月期の個別業績におきましては、売上高は1,565百万円（前期比139.7%増）、営業利益195百万円（前期は1,561百万円の営業損失）、経常利益359百万円（前期は1,303百万円の経常損失）、当期純利益297百万円（前期は1,325百万円の当期純損失）となり、前期実績との差異が生じることとなりました。

3. 個別決算における特別損失の計上について

(1) 特別損失の内容

当社は、連結子会社である株式会社capableにおいては、投資が先行する成長段階であり、厳しい市場環境が継続している状況に鑑み、将来キャッシュフローを保守的に見直し、財政状況を勘案した結果、当該子会社株式の減損処理を行ったため100百万円の特別損失を計上いたします。

(2) 業績に与える影響

上記の連結子会社株式の減損処理につきましては、個別財務諸表のみで計上されるものであり、連結決算において消去されるため、連結業績に与える影響はありません。

以 上